



アクセス、人材確保、BCP、すべてに優れるビジネス環境

# 「イノベーションと新しい働き方改革を神戸」で実現

都会でありながら海と山の自然が豊かで、観光スポットも多いオシャレな街、神戸。そんな神戸にオフィスを構える企業が増えているという。



神戸市  
医療・新産業本部  
企業誘致部長

大石 隆さん

**KOBE**  
UNESCO City of Design

## 多様な企業が集まる地、神戸

### 企

業が働き方改革を模索する中、働く「場所」を神戸に変え、従業員満足度アップを目指す企業が

増えてつある。本社機能を残す、あるいは東京に本社機能を残しつつ、西日本の拠点として神戸に支店を据えるなど形はさまざま。しかし、西の拠点ならば大阪でもよいはず。なぜ神戸なのか。

「オフィス賃料が安い上、東京との行き来に新幹線と飛行機を気軽に使い分けられる好立地は、神戸だけではないでしょうか」と話すのは、企業誘致部長の大石隆さん。新幹線であれば、新神戸駅で乗り換えて一駅二分で中心地の三宮へ。

飛行機なら、東京・羽田空港から神戸空港まで約七〇分、神戸空港から三宮まではポートライナーで約一八分。大阪（伊丹）空港から大阪市内（梅田）まで二五分以上かかるのに比べ、スムーズだ。

「神戸はもともと、多くの企業を生み育ててきた都市です。歴史のある重厚長大産業や灘五郷で知られる酒造り、ファッションやスイーツの分野にも神戸発祥の企業が数多くあります。それに加え、医療産業をはじめとし、ITコンテンツ産業や航空宇宙産業、環境エネルギー産業など成長分野の産業が集まり始め、すでにたくさんの方が神戸にオフィスを構えています」

神戸の特徴は、企業の集積がコンパクトに形成されているところ。神戸市中心

部の三宮、人工島のポートアイランド、インランドエリアに造成された産業団地群など、エリアごとに多様な業種が集まっており、イノベーションが生まれやすい。神戸の「新しいモノ好き」という風土も、それをバックアップしている。

「神戸で生まれ育った人は地元愛が強く、将来も地元で暮らすことを希望する若者が多い。また、大学等教育機関が多いことでも知られ、優秀な学生が集まっています。にもかかわらず、東京、大阪に比べて有効求人倍率は低く、優秀な人材を採用しやすいことも特長です」

阪神・淡路大震災の経験から、災害に強いまちづくりに取り組んできた経緯もある。沿岸部では、南海トラフ大地震への津波対策を推進。避難計画や、防潮堤

の整備など、防災強化に取り組み、市街地は二〇一九年にも完成予定だ。首都直下地震がいつ起きてもおかしくないといわれている今、BCPとして安全な地に本社機能を移しておく、あるいは分散しておくことの意味は大きい。

## 豊かな暮らしが、現実になる

### 神

戸に移転した際の支援制度にも注目だ。要件を満たせば、月々の賃料の四分の一が三年間サポートされる上、東京二三区内から移転した場合は、さらに手厚い補助が設けられている。こうした支援制度を活用し、近年、ゲーム事業、機械設計、外資系コン



JRや地下鉄、私鉄が乗り入れる三宮駅周辺は、現在再開発が進む。西日本最大級の中・長距離バスターミナルや新たなランドマークに加え、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」も誕生予定

### ▶ 関西でいちばん東京に近いオフィス集積地

- ▶ 大阪（梅田）～大阪空港
  - バス：約25分+交通事情
  - 私鉄+モノレール：約27分

### ▶ 三宮～神戸空港

- ボートライナー：約18分（羽田便1日9便）

### ▶ コストパフォーマンスの高いオフィス賃料

- 東京都：37,050円/坪（グレードA）
- 大阪市：23,650円/坪（グレードA）
- **神戸市：11,280円/坪**

（CBRE MARKET VIEW Japan office Q3,2018）

### ▶ 充実の補助制度

賃料の1/4、もしくは750円/㎡・月

上限額：1,000万円/年

（東京23区からの移転の場合）

500万円/年（東京23区以外からの場合）

期間：3年間（1,500㎡以上の場合は5年間）

### ◀ 外国・外資系企業 ▶

賃料の1/2（上限200万円/年、3年間）

※上乗せ補助あり

このほかにもさまざまなインセンティブが充実！

## 問い合わせ先

神戸市 医療・新産業本部  
企業誘致部企業立地課

TEL: 078-322-5329

EMAIL: corp\_re@office.city.kobe.lg.jp

URL: https://kobe-investment.jp/

神戸市企業進出

検索

サルティングなどの企業が次々と神戸に進出を果たしている。

「神戸は六甲山と瀬戸内海がとてもし近にあり、自然に囲まれています。ふとデスクから顔を上げると、海や山が目の前に広がり、客船の汽笛が聞こえることも。これは決して憧れではなく、神戸なら実現できます」

個人的なショッピングや百貨店も充実しており、外国文化を感じながら暮らせるのもポイントだ。職場と住まいのエリアが近い上、電車通勤は混雑が少なく快適。徒歩通勤も珍しくない。

たとえば、三宮から地下鉄でわずか一分の谷上地区。都市に至近でありながら静かな山間部で、夏は蛍が飛び交う自然豊かな地域だ。立地の魅力に着目した先進のIT企業がオフィスを構え、コワ

ーキングスペースを開設したことで、今、「挑戦と変化」が生まれるコミュニティが形成されている。

また、神戸はゴルフ場が多いことで知られる。休日はゴルフやハイキングなど健康的に過ごすもよし、三宮から電車で約三〇分の有馬温泉で、質の良いお湯でゆっくり体を休めるもよし。

「登山はもちろん、夏は海水浴、冬はスキーとレジャーに事欠かず、日本を代表する神戸牛をはじめ、魚介や農産物などのおいしい食材も豊富なのが自慢です。さすがに神戸牛にはなかなかお目にかかれないですけどね（笑）」と大石さん。平日はしっかりと働き、休日は自然の中でリフレッシュするという理想的なワーク・ライフ・バランスが実現できる街が神戸だと、胸を張る。

## 都内からの本社機能移転で 広いオフィスと人材、 ゆとりある働き方を実現

株式会社モノビット 代表取締役社長  
本城嘉太郎さん



2005年にゲーム開発会社を立ち上げ、2013年に株式会社モノビットを設立しました。現在はVRコンテンツの開発・運営やネットワークゲーム事業などを行っています。2017年7月に本社機能を神戸に移転し、1年以上経ちました。営業拠点のある東京との通信設備さえ整えれば、全く不自由しません。東京と神戸との行き来も新幹線や飛行機を利用すれば、三宮にあるオフィスと非常に近く、すぐに顔を出せます。

実は、私は神戸出身。生まれ育った神戸に恩返しをという思いと、今後の事業拡大による人員確保に対応するため、移転を決断しました。神戸はもともと賃料が安価ですし、東京23区内からの移転ということで充実した支援制度を活用することができます。おかげで、中心地である三宮に広いオフィスを構えることができました。

神戸に本社を置いてから、九州や中国地方など西日本のクライアントが着実に増えています。デメリットは特に感じていないですね。東京と比べ物価が安く、人件費も抑えられますし、美しい街並みで人混みもない。気持ちにもゆとりが生まれています。